

セブン・イレブンからの助成金で機材購入

(草刈り機、チェーンソー、ジェットシューター、トランシーバー等)

資産や資金を持たず、純粋のボランティア団体としてスタートし、わずかな手出しの会費で活動してきた保全の会も、NPO法人として組織を確立し、これまで各方面から補助金や支援金をいただきながら、細々と野焼きの再開、貴重生物の保護の取り組みを行ってきました。

その間、会員個人の草刈り機を持参いただいたり、他団体からジェットシューター等の機材を借りたりして活動してきましたが、便り41号でお知らせしたとおり、セブンイレブン記念財団からの活動助成によりさしあたり、写真のような備品を購入することができました。これにより、猪の瀬戸湿原保全の会として主体的な活動が可能になりつつあります。

今後、輪地切り、輪地焼きに必要なレーキやバーナーなどを順次購入の予定です。

この助成金で購入した備品には、セブンイレブン財団のシールを貼っています。



ジェットシューター (13機)



草刈り機 (8機)



トランシーバー (10機)



チェーンソー (3機)

今年も賛同者からの支援金

保全の会をあたたく見守り、応援していただいている別府市在住の賛同者の方(匿名希望)から、今回また10,000円の支援をいただきましたのでご報告いたします。有効に活用し、環境保全に努めてまいります。ありがとうございました。